

- 問1 単独で過半数の議席を得られない場合に、複数の政党が協力して政権を担当することを何という？
- 問2 小選挙区制において、1つの選挙区から選ばれる当選者の人数を何という？
- 問3 財産や身分に関係なく、一定年齢以上のすべての国民に選挙権を認める原則を何という？
- 問4 日本の現在の衆議院議員選挙で採用されている、小選挙区と比例代表を組み合わせた選挙制度を何という？
- 問5 国民が投票によって、自分たちの政治の代表者を直接選ぶ仕組みを何という？
- 問6 比例代表制において、議席の配分を決める際に基準となる数値を何という？
- 問7 各政党の得票数に応じて議席を割り当てる、参議院などで採用されている選挙制度を何という？
- 問8 野党が内閣の政治姿勢を批判する手段として、衆議院に対して提出する決議案を何という？
- 問9 投票用紙に名前を記載せず、自ら記入させることで公正な投票を促す方式を何という？
- 問10 選挙において、自分が誰に投票したかを他人に知られないようにする権利や仕組みを何という？
- 問11 政党のうち、政権を担当する政党のことを何という？
- 問12 小選挙区制のもとで、政党間で政権が入れ替わることを何という？
- 問13 選挙に重大な違法行為があり、その結果が不当であると判断された場合に裁判所が下す判決を何という？
- 問14 過去の日本において、高い税金を納める者のみに選挙権を与えるなど、条件を設けていた選挙を何という？
- 問15 衆議院選挙などで、小選挙区制と組み合わせられている、得票率に応じて議席を配分する制度を何という？
- 問16 政党が選挙において、政権を獲得した際に実行する具体的な政策を公約としてまとめたものを何という？
- 問17 選挙において、有権者が候補者や政党を直接投票によって選ぶ原則を何という？
- 問18 各選挙区において、一人の議員が代表する有権者数に偏りがある状態を何という？
- 問19 有権者が選んだ代表者がさらに別の代表者を選ぶ選挙方式を何という？
- 問20 選挙において、当選者に結びつかなかった票のことを何という？
- 問21 人口の多い選挙区と少ない選挙区で、議員1人あたりの有権者数に不均衡がある状態が反するとされる憲法の原則を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> <b>連立政権</b>	この事態を解決するため、複数の政党が合意に基づいて協力し、合同で内閣を組織します。これを連立政権と呼びます。参加する政党間で政策の優先順位をすり合わせ、大臣のポストを分け合うなど、協力体制を築きます。
問2	<b>答え</b> <b>1人</b>	小選挙区制では、1つの選挙区から当選するのは必ず1人です。得票数が最も多い候補者が当選するため、多数の意見が議席に反映される一方で、落選者の票（死票）が多くなる傾向があります。
問3	<b>答え</b> <b>普通選挙</b>	現代民主主義における基本ルールであり、日本では1925年の普通選挙法施行により、満25歳以上の男子に選挙権が与えられたのが始まりです。その後、現在は満18歳以上のすべての男女に選挙権が認められています。
問4	<b>答え</b> <b>小選挙区比例代表並立制</b>	一つの選挙区から一人だけ当選する小選挙区制と、政党の得票数に応じて議席を割り振る比例代表制を組み合わせたものです。小選挙区制は政権交代を促しやすく、比例代表制は多様な民意を反映しやすいという、双方の長所を活かすことを目指しています。
問5	<b>答え</b> <b>直接選挙</b>	直接選挙は、有権者が誰に投票するかを直接決め、代表者を決定する制度です。日本の国会議員選挙や地方自治体の首長選などはこの仕組みで行われています。
問6	<b>答え</b> <b>得票率</b>	比例代表制では、政党ごとの得票率に応じて、あらかじめ決まった議席数が割り振られます。この仕組みにより、たとえ一つの選挙区で勝てない政党であっても、全国的な得票率が高ければ議席を獲得することが可能となります。
問7	<b>答え</b> <b>比例代表制</b>	投票の際、候補者個人ではなく政党名（または候補者名）に投票し、その得票比率に応じて議席を政党に配分します。これにより、少数意見を持つ政党も国会に議席を持ちやすくなります。
問8	<b>答え</b> <b>内閣不信任決議案</b>	野党が政府の重大な不祥事や政策の失敗を追及するために提出するものです。これが衆議院で可決されると、内閣は10日以内に衆議院を解散して国民に信を問うか、内閣が総辞職しなければなりません。まさに、内閣の存続を賭けた極めて重い決議です。
問9	<b>答え</b> <b>自書式投票</b>	投票所で配布される投票用紙に、有権者が直接候補者名や政党名を記入する方式です。これにより、誰が誰に投票したかが外部から操作されにくくなり、個人の意思がそのまま票に反映されるようになります。
問10	<b>答え</b> <b>投票の秘密</b>	投票の秘密は、憲法で保障された重要な権利の一つです。有権者は自分が誰に投票したかを他人に言う必要はなく、また他人もそれを無理やり聞き出すことはできません。これにより、有権者は組織からの圧力やしがらみを気にせず、自分の信念に基づいて投票することができます。
問11	<b>答え</b> <b>与党</b>	政権を担当する政党を与党といいます。これに対し、政権に参加せずに政策の批判や監視を行う政党を野党と呼びます。与党は内閣を支え、政策を実現する役割を担います。
問12	<b>答え</b> <b>政権交代</b>	政権交代は、選挙によって野党が勝利し、新たに政権を担うようになる現象です。これにより、国民は政策の異なる政党同士を比較・選択し、政治の方向性を自分たちの意思で変えることができます。
問13	<b>答え</b> <b>選挙無効</b>	選挙無効とは、選挙区の格差が著しく憲法違反の状態である場合や、不正が行われた際に裁判所が出す判決です。これにより、その選挙によって選出された議員の身分が失われる可能性があります。
問14	<b>答え</b> <b>制限選挙</b>	制限選挙とは、性別、財産、教養などの基準を設け、それらを満たした一部の人のみに投票権を認める制度です。しかし、これでは国民全体を代表する政治が行えないとの批判が高まりました。
問15	<b>答え</b> <b>比例代表制</b>	比例代表制では、有権者は「政党名」に投票し、その得票率に応じて各政党に議席が割り振られます。これにより、多様な意見や考え方が議席に反映されやすくなります。
問16	<b>答え</b> <b>マニフェスト</b>	マニフェストとは、政権交代可能な政党が、具体的な数値目標や財源、達成期限を明記して提示する「政権公約」のことです。有権者はこれを見て、どの党の政策が自身の生活に役立つかを判断します。
問17	<b>答え</b> <b>直接選挙</b>	有権者が自分たちの代表を選挙で直接選ぶ仕組みを指します。これに対して、選挙人が選んだ代表がさらに別の代表を選ぶ間接選挙とは区別されます。現代日本の国政選挙では、この直接選挙の原則が守られています。
問18	<b>答え</b> <b>一票の格差</b>	ある選挙区では少ない票数で当選できる一方、別の選挙区では多くの票が必要になるなど、投票した一票が持つ価値に不平等が生じることを「一票の格差」と呼びます。これは平等選挙の原則に反する恐れがあります。
問19	<b>答え</b> <b>間接選挙</b>	直接選挙とは対照的に、有権者は選挙人や代表者を選出し、その選ばれた者たちが最終的な決定権を行使します。現代日本の首相指名選挙がこの仕組みにあたり、国会議員が国民を代表して内閣総理大臣を指名します。
問20	<b>答え</b> <b>死票</b>	死票は、落選した候補者や、当選したものの当選ラインを大きく超えて得票した候補者への余剰票などを指します。死票が多ければ多いほど、有権者の意思が議席に十分に反映されていないという批判が生まれます。
問21	<b>答え</b> <b>法の下での平等</b>	憲法14条は「法の下での平等」を規定しており、国会議員1人あたりの有権者数に大きな格差があることは、投票価値の平等に反し、この憲法原則を侵害しているとみなされます。